

14

千代田区景観まちづくり重要物件

誠心堂書店

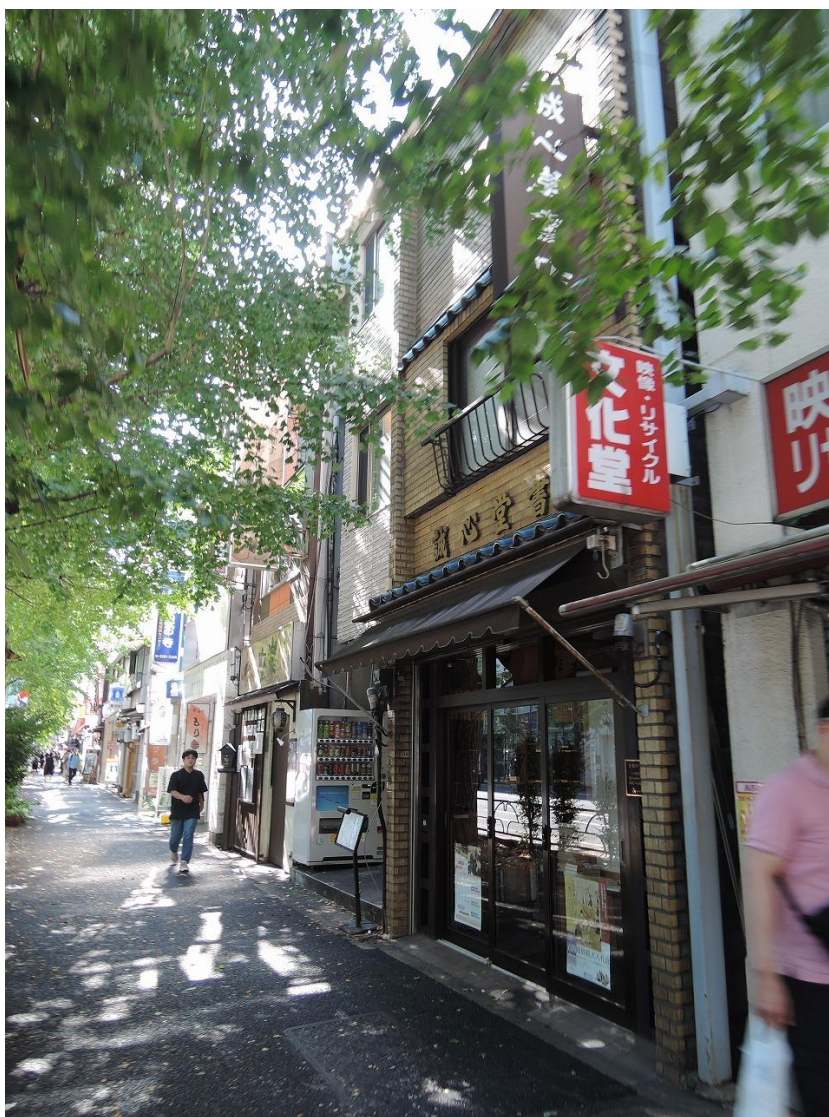
指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

所在地 神田神保町二丁目 24 番地

設計者 沢崎輝男

竣工 1959（昭和 34）年

文化財等
指定状況



▲通りに佇む誠心堂書店

歴史・文化的特徴

誠心堂書店は 1930（昭和 5）年に先代・田中十蔵によって開業された書店です。専修大学前に近い山本書店から独立し、和本・書道・国漢系学術書を専門としてきました。

街並に多数あった、戦前からの木造 2 階建ての勾配屋根の日本家屋の正面に、洋風商店のファサードを貼り付けたような、いわゆる「看板建築」のスタイルを踏襲して、戦後建てられたものです。

意匠・構造の特徴

縦に櫛目が入った、黄色の施釉スクラッチタイル貼りの外観を持つ商店建築です。青いスパニッシュ瓦（S 瓦）の小庇が目を引きます。

周辺景観との関係

戦前からの看板建築が並ぶ街並に違和感なく溶け込み、しかも自己主張を添えて、賑わいある商店街の一要素となっていました。近年、周囲ではファストフードなどの店舗の色彩が目立つようになり、落ち着きを感じさせる数少ない店構えとなっています。